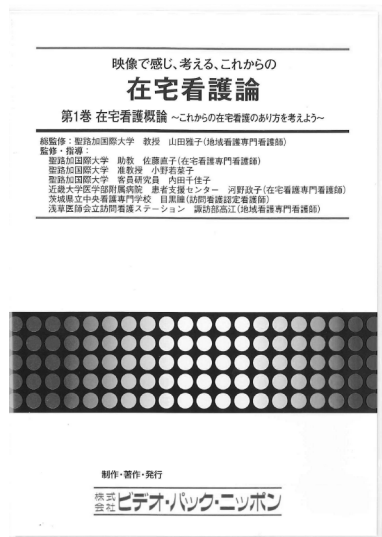


在宅看護論 DVD 版〈全5巻〉



山田雅子＝総監修

佐藤直子、小野若菜子、内田千佳子ほか＝監修・指導

本体〈各巻〉29000円＋税 〈5巻セット〉145000円

ビデオ・パック・ニッポン ☎03-3405-3173

わが国の医療が病院完結型から地域完結型へと転換するなかで、訪問看護師の養成・確保は喫緊の課題となっている。

**知識と魅力を同時に伝える
稀少な教材**

山梨県看護協会は、日本看護協会が日本訪問看護財団に委託した「訪問看護師養成基礎カリキュラム」（2日間）の指導要綱案作成を2013年度に受託した。指導要綱には、「学習の進め方」「学習内容」「指導方法」のみならず、「指導のための教材や資料」などを掲載した。とくに、2日間で訪問看護の魅力を感じとれる内容にするためには、この「指導教材」が極めて重要であると考えた。

知識と魅力を同時に伝える
稀少な教材

そこで看護系大学の協力を得て、学生指導に活用している教材や最近の視聴覚教材、出版物などを検討した。しかし、既存の教材を利用しても、訪問看護を理解し、そのすばらしさや魅力を感じることは難しかった。

そのようなときに、聖路加国際大学の山田雅子教授が総監修し、在宅看護論のDVDを作成されていることを知り、完成を期待していた。そして2014年3月に『在宅看護論 DVD〈全5巻〉』が発売された。副題の「映像で感じ、考える」の通りに、全巻通して訪問看護を感じ、考え、その魅力を伝えるものとなっている。

**実践の場を多くとりあげ
在宅看護を「感じる」内容に**

『第1巻 在宅看護概論』は、「在宅看護のめざすこと」「在宅看護の捉え方」「在宅看護の基本的な姿勢」「広がる在宅看護」からなり、冒頭にも書いたように医療が地域完結型に大きく舵を切る現在では、すべての看護師が知っておくべき内容である。第2巻は「訪問看護の仕組み」「訪問の準備」「訪問時の看護」「訪問後の調整」となっている。いずれも訪問看護の現場を撮影しているため、その実態を

理解しやすい。第3巻では、在宅療養に
関わる医療関係職種や介護関係職種の役
割、そしてこれらの職種とその役割をつ
なぐ仕組みと看護師の役割をとりあげて
いる。第4巻は「療養の場の移行に伴う
看護」となっており、病院から退院する
までをより具体的に解説している。第5
巻には外来（在宅療養指導）、地域包括支
援センター、複合型サービスなど、いろ
ろな実践の場をとりあげている。

本会では、本年4月から2名の新卒訪問看護師の養成に取り組み、このDVDを教材として活用している。新卒者からも、「訪問看護の現場が多く採用されていてわかりやすい」と好評である。

病院で毎日のように「早く家に帰りたい」「家で死にたい」などと口にする患者さん、また、入院治療を必要とする期間が終わったものの「このような器具を装着して家に帰っても困ります」などと語る患者さんや家族がいるのを、多くの看護師が経験していることと思う。在宅看護とは、保健・医療・福祉の関係者が看護と、あらゆる面でよりよく生きるための支援である。すべての看護師は、患者さんが必要としている「生活を基盤にしたケア」を提供できるための知識をしつかりもつことが必要である。